ねっこだより

湖南市立岩根小学校
家庭学習通信
No.6
2026．１０．２６

第１回 岩根っ子自主学チャレンジ期間（10/13～16）

「主体的な家庭学習に取り組める子になってほしい」という願いから取り組み始めた自主学チャレンジの第１回目が終了しました。

これらの２枚のスライドは、10月の全校集会でこの取り組みを説明した時のものです。

はじめての試みでしたが、積極的に自分の学びを掲示する児童の姿が見られました。掲示されたノートはそれぞれ工夫されバラエティにとんでいます。

友だちと学習を見せ合うことで、楽しみながら自主学習のレベルアップができればよいなと思います。

自主学チャレンジって、なに？

3～6年生で取り組みます。
1～2年生もチャレンジしたい場合は担任の先生に言ってください。

① 自分が「一番がんばった！」と思うページを選ぶ

② 「みんなに見てほしい！」ページを選んでもOK

えらんだページを学校に掲示して、友だちに紹介します！

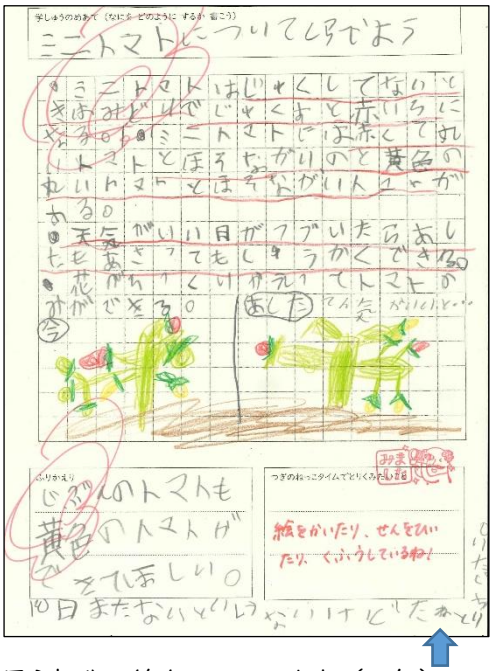
どうしてやるの？

友だちの工夫を見て、自分の自主学をパワーアップ！

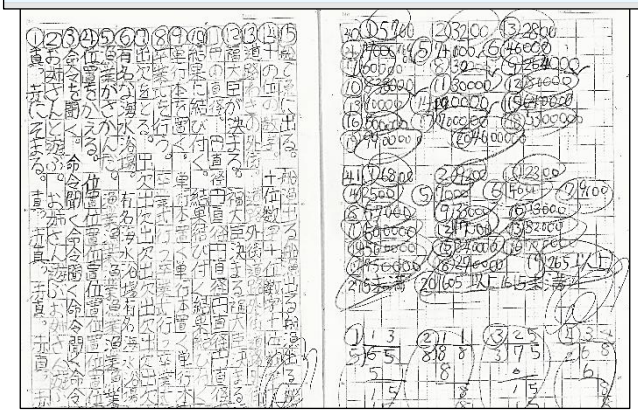
- 友達の自主学習を見て新しいアイデアを見つける
- 「こんな工夫ができるんだ！」と気づく
- 「自分もやってみよう！」という気持ちになる
- 自分の学習をふり返って「がんばった！」を実感する

自分の「がんばった！」を見つけよう。

友達の「すごい！」も見つけよう。



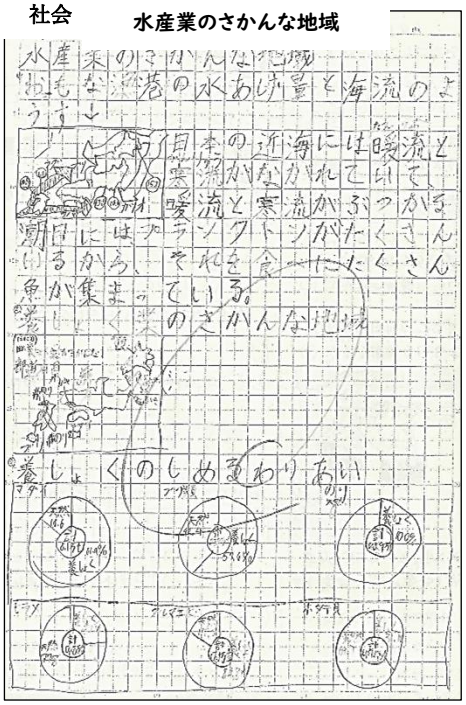
自分で大切だと思う部分に線をひいています。（２年）



２年生は自主学プリントに自由に学習します。
めあてやふりかえりを書くらんがあります。

細かい字で丁寧に漢字や計算の練習をしています（４年）

社会　水産業のさかんな地域



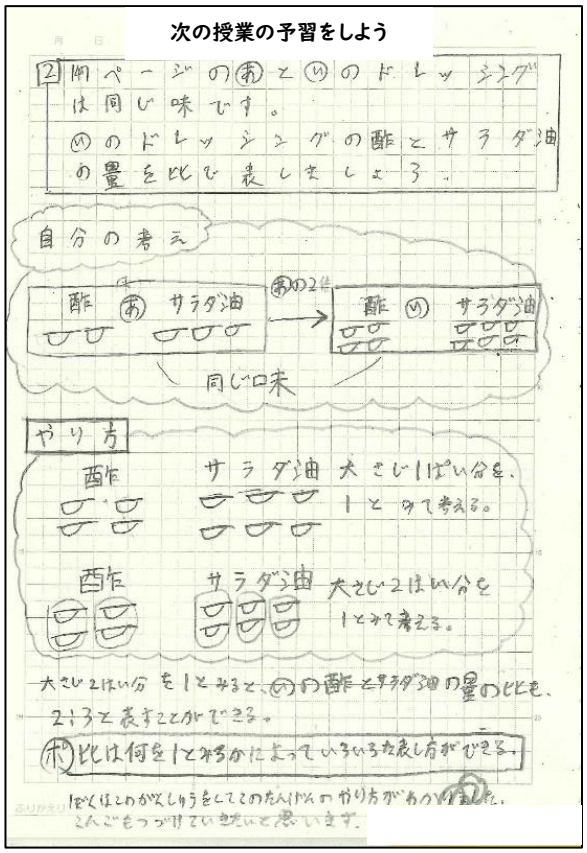
わたしは絵の具でチョンチョンときれいにぬるコツを調べました。チョンチョンときれいにぬるには、「ぬる」ではなく「おく」ということをいしきして、ぬります。
（中略）
わたしは、絵の具でチョンチョンときれいにぬるコツをしって、「お話を絵にしよう」でつかおうと思いました。

調べて知ったことを学習にいかそうとするふりかえりがすばらしいです（3 年）

図やグラフを使ってわかりやすくまとめられています（5年）

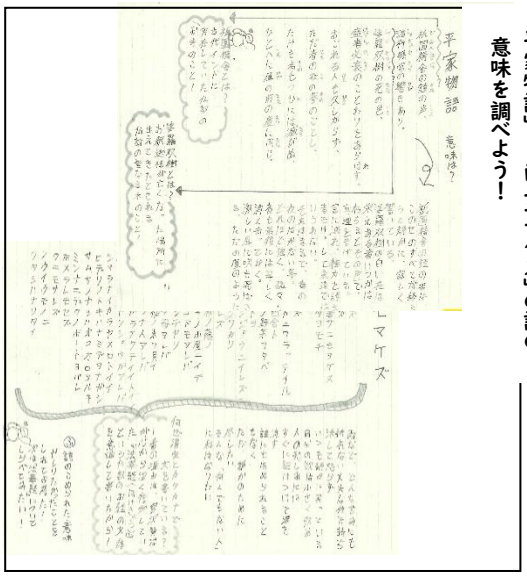
6 年生は、上手にノートのスペースを使って、めあてやふりかえりを書けている人が多く、さすがです!

次の授業の予習をしよう



わからないことばをくわしく調べ、調べていくうちにうかんだ「?」をさらに調べています。（6 年）

自分なりのポイントをまとめ、「自分にはこのやり方がわかりやすい」と、ふりかえることができています。（6年）



「平家物語」と「雨ニモマケズ」の詩の意味を調べよう!

スペースの関係上、少ししか紹介できないのが残念です!

次回の自主学チャレンジは11月16日～20日です。さらにバージョンアップした学びのノートが掲示されるのが楽しみです。。

ちょっと情報

親の声かけで子どもの人生が決まる！（3）

今回も湖南市の教育アドバイザー庄子寛之氏の著書「自分で考えて学ぶ子に育つ声かけの正解」（ダイヤモンド社）から一部を紹介します。「声かけ」を真似して習慣化すれば「自分で考えて学ぶ子」に育ちます。という本書を参考に是非、おもしろがって自分の普段の声かけをふり返り、まねできそうなものは意識して習慣にしてみてください。

＜ポイント＞「まずやってごらん」で、積極性を引き出す。

「おもしろそう」「やってみたい」と思える子は、日常で小さな挑戦ができる環境があり、そこで小さな成功体験を積んでいます。挑戦しても怒られない。むしろ応援してもらえる。うまくいかなくても、挑戦をほめてもらえる環境が安心して挑戦する気持ちをのばしているのです。

例）それは失敗する可能性が高いから、こっちのほうがいいと思うよ

→→　失敗したっていいんだよ。それ、おもしろそうじゃん！やってみな！